

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2000-5159 (P2000-5159A)
【公開日】平成 12 年 1 月 11 日 (2000.1.11)
【出願番号】特願 平 10-173487
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 B 6/03
【F I】
A 6 1 B 6/03 3 5 0 F

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 5 月 20 日 (2005.5.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

被検体に予め設定されたビュー角で X 線を照射する X 線源と、前記被検体を挟んで前記 X 線源と対向配置され前記被検体の透過 X 線を検出する多チャンネル X 線検出器と、前記 X 線源と前記多チャンネル X 線検出器を前記被検体の周囲に回転させ、その回転により多方向の透過 X 線を計測データとして前記多チャンネル X 線検出器によって検出させるスキヤナと、前記検出された多方向の計測データから前記被検体の断層像を再構成する画像再構成手段と、を備えた X 線 CT 装置において、前記 X 線源のビュー角と前記多チャンネル X 線検出器のチャンネルとで規定された個々の計測データについてそのレベルを算出する手段と、この算出されたレベルの大きさに応じて前記計測データの補正の度合いを変更する手段と、前記変更された補正の度合いに応じて前記計測データを補正する手段とを備え、前記補正手段によって補正された計測データを前記画像再構成手段に再構成させることを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 2】

前記計測データに隣接するデータを利用しその計測位置でのスムージングデータを算出する手段と、前記レベル算出手段によって算出された計測データのレベルの大きさに応じて補正用重み係数を算出する手段とを更に備え、前記補正手段は前記スムージングデータと前記重み係数とを利用して前記計測データを補正することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 CT 装置。